

超早産（在胎 28 週未満）で当施設に入院された患者様およびご家族の方へ

当科における超早産重症 Small-for-Gestational Age 児の予後に関する研究のお願い

現在当院では、小さく生まれたお子様が元気に成長されるよう努力しており、「超早産で出生した重症 Small-for-Gestational Age 児の予後の検討」を後方視的に実施しております。後方視的研究とは、過去に入院されたお子さんの診療情報などのデータを用いて調査を行う研究です。

過去の診療情報を研究に用いることを、ご家族や代理人の方に改めてご説明し、ご同意を得ることは現実的には困難です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。したがって、ホームページ等で研究内容を公開することで、同意をいただくことに代えさせていただいております。

本研究では、お子さんの個人情報の匿名化を行っており、ご氏名やご住所など個人を特定できる情報は用いません。得られた情報は個人が特定されないようにデータベース化したうえで、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は、医療の発展のためにまとめ、学会等で発表いたします。お子さんが研究の対象に該当され、研究への情報提供に同意されないなどのご意志やご意見等がございましたら、ご遠慮なく下記研究代表者までお問い合わせください。

目的：本研究は、当科に入院した超早産重症 Small-for-Gestational Age 児について後方視的検討を行い、妊娠分娩中の経過や入院時および入院中の合併症や治療、予後などについて調べ、その実態と合併症や予後に関連する因子などを明らかにすることを目的としています。

研究期間：2019年4月～2024年3月まで

対象となる方：2006年1月～2014年12月に当院新生児科に入院した在胎週数28週未満のお子様

方法：カルテ情報に基づいた後方視的調査です。特別に何かしていただくことはありません。

研究に用いる情報の種類：病歴、検査データ等

研究実施機関：群馬県立小児医療センター

研究責任者：市之宮健二

研究共同担当者：丸山憲一、小泉亜矢、福田一代、山崎優、鏑木浩太、本間春奈

【問い合わせ先】

研究代表者氏名：新生児科 市之宮健二

〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551 FAX：0279-52-2045（代表）

E-mail: ken-k-7@gcmc.pref.gunma.jp